

# 情報機器を利用した総合的な学習の時間の実践

深谷小学校（実践者）関根千鶴子 四分一利子 浅野貴之  
（報告者）浅野貴之

## 1 単元名 「思い出のアルバムを作ろう」 第6学年（総合的な学習の時間）

### 2 単元のねらい

1年間の様々な行事や活動を記録にとり、思い出に残る自分だけの卒業アルバムを作ることができる。

- ・プレゼンテーションソフト「はっぴょう名人」の使い方を知り、学習に生かすことができる。
- ・ワープロソフト「一太郎スマイル」を使って写真や文字、絵などを組み合わせアルバムを作ることができる。
- ・行事や活動をデジタルカメラを使って記録していくことができる。



### 3 情報機器活用の意図

児童はこれまで「総合的な学習の時間」や各教科の時間等を通じて、コンピューターやプロジェクターなどの情報機器の使い方を学び、活用してきた。また、昨年度はホームページの作成などを通じて、情報モラルについても学んできた。そこで、6年生では、これまで学んできた情報機器の使い方などを生かしたり、さらに深めたりしながら、「総合的な学習の時間」や行事等で行う様々な体験活動を児童に主体的に行わせていきたいと考え、アルバム作りに取り組みこととした。また、アルバム作りを行うことで、これまで撮影するだけで活用されなかった写真や様々な資料を活用したり、児童が自分たちの活動について客観的に考えることができると考えた。

### 4 指導計画（25時間扱い）

評価の観点：意欲・態度 情報活用 表現 コミュニケーション 生き方・意思

過程	学習活動	支援（・） 評価（ ）
ふ れ ら る 課 題 を つ か む	1 課題を知る・課題をつかむ (3時間)  オリエンテーション 機器の使い方を知る ・プレゼンテーションソフトの利用法 ・アルバムの作成方法 ウェブページをもとに課題を見つける	・小学校生活の思い出をアルバムなどの形で残していきたいという意欲を持たせていく。 ・社会科見学の記録を発表するための資料を作成していく中で、はっぴょう名人の使い方を学ばせていく。 ・写真の取り込み方やレイアウトの工夫の仕方などアルバムの作成に必要な技術を習得させる。 ・行事や記録として残しておきたい活動などを挙げながらウェブページを行う。  情 はっぴょう名人の使い方がわかる。 意 小学校での自分たちの記録をアルバムの形で表していこうとしている。
構 見	2 計画を立てる(2時間)	・一年間の行事予定と比較しながら、効率的に作成できるよ

想通 す す る	アルバム作りの計画を立てる	う助言する。 ・情報機器の使い方を確認する。 情 情報機器の特性を知り，使うことができる。
調追 べ求 るす る	3 計画を実行する（16時間） アルバムを作成する 作品を見直し修正する	・友達の様子と行事や活動の様子がはっきりとわかるよう注意しながら写真を撮るよう助言する。 ・文字や写真の効果的なレイアウトについて考えさせ，必要に応じて作品を手直しさせる。 ・友達と作品を見せ合い，話し合いながら修正する。 コ 友達の作品も参考にしながら，よりよい作品作りをすることができる。 情 情報機器の特性を知り，有効に活用することができる。
表ま 現と すめ るる	4 まとめる（3時間） 一太郎スマイルを使ってアルバムの表紙を作り，印刷する 製本してアルバムを完成させる これまでの写真やアルバムを入れたCD-Rを作成する	・今までの思い出をふり返ったりや作ってきたアルバムを見直したりしながら，アルバムの表紙を作成させる。 ・今まで作ってきた作品を印刷し，製本してアルバムを作成させる。 ・作品をCDに記録し，残せるようにする。 情 情報機器を活用してアルバムの表紙を作ることができる。
広伝 げえ るる	5 思いを伝える（1時間） 好きなページを1枚印刷して掲示し，お互いの作品を見せ合う。	・それぞれの良いところを見つけ合ったり，一年間の思い出について話し合ったりすることができるようにする。 ・家の人にも作品を見せ，思い出をふり返らせることにより，自分の成長に気づかせる。 表 友達同士でそれぞれの作品の良いところを伝えたりしながら，作品を見せ合うことができる。 生 自分の成長をふり返り，中学での新しい生活に向けての心構えを持つことができる。

## 5 成果と課題

これまであまり記録することのできなかつた学校での様子を，自分の卒業アルバムとして写真と言葉を使って記録に残すということは，児童にとって関心のあることであつたようで，意欲的に取り組むことができた。情報機器の使い方についても，何回も同じ機器を繰り返し使うことで確実に身につけさせていくことができた。また，後でアルバム作るという意識から1つ1つの活動に対して真剣に取り組んだり，活動内容をよく覚えておこうとする児童もでてきた。さらに総合的な学習の時間にはアルバムのためにとつた写真で活動の様子をふり返ることにより，次回の活動をよりよくしようと思えることができた。このように今回の学習は情報機器の活用能力を定着させ，6年生の活動をより主体的なものにしていくために有効であることがわかつた。また，自分だけのアルバムを作成したことで，保護者に学校での様子をより詳しく伝えることもできた。しかし，活動初期の段階において，どうしても写真に写っていない児童がいたり，きちんととれていないことが多く，貴重な写真の記録を残せなかつた児童もいた。最初の段階でしっかりと撮影技術を教えていくとともに，5年生までの段階で，デジタルカメラの使用法だけでなく，効果的な撮影方法についても計画的に教えていく必要があると感じた。